

# 「北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会 第6回会合」を開催

北陸デジタル田園都市国家インフラ整備推進協議会（以下「協議会」）は、令和7年2月27日（木）、北陸総合通信局会議室で対面及びオンラインでのハイブリッド方式により、第6回会合を開催しました。

はじめに、北陸総合通信局 菱田局長から、地方創生2.0の実現のため、ICTを活用した地域活性化につながる優良事例の創出とその横展開を目指すことが重要との旨の挨拶がありました。



会合は会場参加とオンライン参加のハイブリッドにより開催

第1部では、インフラ整備のマッチング案件の進捗について、福井県から冠山峠道路の携帯電話不感対策の要望に関して報告があり、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク及び楽天モバイル各社がその対応・検討状況について説明しました。また、事務局からその他の携帯電話不感地域への対応について報告しました。引き続き、事務局から地域におけるデジタルインフラ整備・デジタル実装等の自治体ニーズ調査の結果及びFTTHの民設移行に係る勉強会の開催状況について報告しました。



北陸総合通信局  
菱田局長 挨拶



信州大学 名誉教授  
情報基盤センター 特任教授  
不破 泰氏

## 【議事】

### <第1部>

- 1 5G等のインフラ整備のマッチング案件等について  
・携帯電話不感地域の対応
- 2 地域におけるデジタルインフラ整備・デジタル実装等の自治体ニーズ調査結果
- 3 FTTHの民設移行に係る勉強会開催報告

### <第2部>

- 4 ブロードバンドユニバーサルサービス制度について
- 5 ICT利活用施策紹介  
・総務省の支援施策（令和6年度補正予算・令和7年度当初予算案）  
・スマートに農業推進施策について
- 6 講演「中山間地域におけるDX推進の新たな動き」

第2部では、総務省総合通信基盤局基盤整備促進課からブロードバンドユニバーサルサービス制度の概要や制度の整備状況について説明を、北陸総合通信局から通信インフラ整備等の補助事業、地域社会DX推進パッケージ事業等の総務省支援施策について説明を、北陸農政局農村振興部地域整備課から、農業におけるICT利活用に向けた農業農村情報通信環境整備準備会、スマート農業推進事業、スマート農業技術活用促進法についてそれぞれ説明がありました。最後に、信州大学 不破泰名誉教授から、「中山間地域におけるDX推進の新たな動き～地域DX推進の障壁を乗り越えて～」と題して、長野県内でのスマートシティ構築の経験、中山間地域でのDX推進において障壁となる「人材」と「インフラ」の観点から、産学官が一体となった信州DX推進コンソーシアムの役割、デジタル人材の育成に向けた取り組み、通信インフラ等の整備に向けた信州大学キャンパステストベッドによる実証環境の提供等について講演をいただきました。

協議会では、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、引き続き5G等のインフラ整備のマッチングを行うとともに、デジタルインフラ整備を通じて地域課題を解決するため議論を深めていきます。